

令和4年度事業報告書 事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

概要

定款に則り事業を行い、令和4年度を終了した。

主な事業である日本飛行クラブ、赤十字飛行隊、大和根飛行場の運営は大過なく運営された。特別な内容としてはコロナ禍のため延期していた、当社団の名誉会長で赤十字飛行隊隊長であった高橋淳氏の「淳さんを偲ぶ会」を令和4年12月18日に実施することができた。(59名参加)

その他、懸案事項として、静岡県から三保飛行場の撤去条件について、昨年「話し合う機会を設けたいので連絡する」との一報があったが現在迄、進展はない。

1. 会員及び飛行訓練事業 (日本飛行クラブ、飛行隊合計会員数:131名)

日本飛行クラブ 個人会員 32名 団体会員 1

- ① 記念品送付 パイロット手帳
- ② 飛行訓練 令和3年度末にスカイネットアカデミー(株)との訓練委託契約が終了したため、令和4年度から株式会社日本モーターグライダークラブと委託契約をした。

2. 会報発行事業／「エアロンカ」隔月発行 計 6回

航空安全を啓蒙する記事を中心に、航空に関する最新情報や、赤十字飛行隊活動報告、飛行に関する体験記などを掲載し、5,7,9,11,1,3月の年6回発行。

3. 飛行場運営事業

①大和根飛行場

多くの団体及び自家用機等に飛行場を提供して、スポーツ航空の発展に寄与した。また、事故防止のため飛行場整備にも努め、騒音対策飛行ルートにも留意し運営した。なお台風等の被害はなかったが、9月26日～28日の3日間が国葬期間となったため諸官庁、警察などにテロ対策協力として飛行場をクローズした。

*常駐機：飛行機10機 滑空機9機 (令和5年3月31日現在)

*メールによる飛行場情報配信

*防衛省用パラシュート開発に飛行場提供

*無人飛行機、鳥人間フライト等のテスト飛行

②三保飛行場

昨年「三保の占有許可の更新はしないと通知されていたが、一応、令和4年1月13日付けで三保の海岸占有許可の申請を行ってみた。しかし、同年4月8日付けで海岸占有許可は認められなかった。また滑走路、駐機

場にある物件の撤去、原形復旧を求められたため、5月14日にバス、トイレの撤去を完了した。残る物件のコンテナは未だそのまま置いてある。これは、存置する工作物と、撤去を依頼する工作物の明示、航空局の飛行管制等の対応状況の確認などを相談したいとの県からの申し入れがあったものの県側の事情により面談が中断しているからである。(令和4.10.07)なお、これまで飛行場使用許可書を出していた公共機関等へは、弊社団の占有が終了し、静岡県の管理となった旨を連絡済みである。

4. 赤十字飛行隊運営事業

昨年と比べ総合防災訓練、自主活動などが徐々に再開されたことによりフライト回数も増加した。

隊員 新入会：0名 退会者：4名 合計99名

① 全国支隊長研修

日時：令和4年10月16日 13:00～16:30

場所：日本赤十字社本社201会議室 出席者：27名

内容：(1) 日本赤十字社による 金色有功章1名、銀色有功章1名授与
(2) 航空安全講習会

「運航拠点(FAIB)・対空センター、ヘリコプターのRNAV航行」

講師：一般財団法人航空交通管制協会 堀井不二夫

後日講習資料を欠席支隊長、隊員に配布

(3) 各支隊活動報告及び懸案事項検討、事務局連絡事項：出席支隊全員

② ボランティア飛行

日赤要請 長崎支隊、群馬支隊、福島支隊	4機	時間 2+40	18名
自主活動 (機数、人数はスタンバイ含む) 群馬支隊、熊本支隊、愛媛支隊	15機	時間14+10	43名
合計	19機	時間16+50	61名
その他/熊本支隊とNTTドコモ九州防災協定締結			

5. 航空知識向上事業(航空安全講習会) 実施：0回

6. その他

航空局、調布飛行場の安全運航セミナーにオンラインで参加

無人機フライト情報は安全共有として、該当する周辺の支隊にメール発信

7. 「調布飛行場友の会」事務局

平成26年に発生した調布飛行場の事故のため、現在休止中